



JIC インフォメーション

第124号 2004年1月10日

年6回 1・2・4・6・9・11月の10日発行

1部500円

発行所: JIC 国際親善交流センター 発行責任者: 伏田昌義

<http://www.jic-web.co.jp>

東京事務所: 〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-1 小島ビル 6F

TEL: 03-3355-7294 jictokyo@jic-web.co.jp

大阪事務所: 〒540-0037 大阪市中央区内平野町 2-2-4 コスミックビル 3F TEL: 06-6944-2315 jicosaka@jic-web.co.jp

ロシア・旧ソ連
国際交流誌

あけましておめでとうございます!



本年も



どうぞよろしくお願いいたします!

JICスタッフ一同

2004年



С НОВЫМ ГОДОМ!

写真 モスクワ・ワシリイ寺院

JICは頑張る人を応援します!

JIC スタッフよりご挨拶「ロシアを愛する理由」・・・2-7P
ロシアのウオトカを訪ねる旅・・・8P
2006年を日本におけるロシア年に!・・・9P
ロシアバレエの歴史 山川詩保子・・・10P
ロシア語スピーチコンテストの報告・・・11P

ペンパル情報・・・12P
JIC 交流イベント報告・・・13P
ボリスグレベンシコフ来日公演決定・・・14P
ロシア関係イベント情報・・・15P
JIC イベント案内・・・16P

JICでは、Jクラブ(JIC友の会)会員を募集しています。

年6回の情報満載のインフォメーションをお届けします。

JICスタッフよりご挨拶



ロシアを愛する理由



あけましておめでとうございます。

本年もJIC国際親善交流センターならびにジェーアイシー旅行センターに変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

JICスタッフとは家族同然

JICの仕事を始めて20年。私の人生の中でJICでの仕事が一番長い時間を占めるようになりました。最初の10年は今やもう歴史の中の存在となっ



ペテルブルグにて

ったソビエト連邦との交流でした。毎年夏に青年交流の船をソ連極東(ナホトカ、ウラジオストク)に出し、ピオニールキャンプに子供たちを送り、ソ連船を日本各地で受け入れ、ペレストロイカにまつわるセミナーやシンポジウムを毎年のように開きました。それは「冷戦時代」という当時の国際関係の中にあって、きわめて政治的な色彩の強い活動ではありましたが、同時に大変楽しい仕事でもありました。

しかしながらソ連邦が崩壊し、社会主義から資本主義に転じたロシアの歩みと軌を一にして、JICの交流活動も根本的な見直しを迫られました。第1は、社会主義や冷戦の「しほり」から離れた日常的な日本とロシアとの交流というのは何かを探すことであり、第2は、その交流活動を支えるための財源を自分たち自身で作出すことでした。「先立つもの」がなければ、どのような高邁な理想も、社会的に意義のある活動も実現することができません。

ジェーアイシー旅行センター(株)で旅行業に取り組んだのは、当時の私にとっては、ある意味で「仕方なく」余儀なくされた選択でした。しかし、その頃に同僚の杉浦君が言った言葉がいまだに忘れられません。「国と国との交流は、つまりは人と人との往来であって、それを助ける旅行業というのは、それ自体が最大の交流活動ですよ!」。この言葉にどれほど励まされたかわかりません。最初は素人同然だったジェーアイシー旅行センターの業務も今では、自信を持ってプロフェッショナルの域に達していると言うことが出来ます。とくに個人旅行専

門で旅行業務に取り組んだために、スタッフ一同どんな難しい手配でも「やってやれないことはない」という変な自信がついてしまい、それがお客様から信頼される基盤になっていると思います。昨年は、スタッフたちの大変な努力によりホームページの大改訂が実現し、さらに「ロシア旅行ハンディガイド」(68頁)を発刊することができました。そして、4月からはアエロフロートやウラジオストク航空のチケットの自社発券を開始しました。

今では、JICの仕事の大部分がジェーアイシー旅行センターの旅行業務になってしまいましたが、私たちは旅行業を通じて日本とロシアとの交流拡大に大きな貢献をしていると胸を張って言うことができます。

ロシアとの交流に欠かせないロシア語教育に留学生派遣という形で取り組んだのも、JICの大きな財産となりました。JICスタッフの実に7名が留学経験者で、(私以外の)大部分のスタッフがロシア語が話せるというのは、私の自慢のタネの一つです。

ロシアとの日常的な交流という第1の課題は、ロシア語留学生の派遣、ロシア語講座の開催、急増しつつある在日ロシア人(旧ソ連諸国出身者)との交流とサポート、そしてこのJICインフォメーションによるロシア情報の提供といった形で実現してきました。まだまだ足りないことばかりですが、日本とロシアが良き隣人として協力し合える関係を作っていくために、これからもJICの活動を着実に拡大していきたいと思っています。

事務局長 伏田昌義(ふしだまさよし)

ロシアともっと交流しましょう

昨年は「ロシアにおける日本年」に「サンクトペテルブルク建都300年」の記念行事などロシアをめぐり芸術・文化・学術など多くの交流行事が実施されました。JICもモスクワ、サンクトペテルブルクのバレエ公演やハバロフスクでの交流フェスティバルなど微力ながらお手伝いさせていただきました。



モスクワでのバレエ公演

ひとつの舞台を上演するにも主催者、出演者、芸術監督、舞台監督、照明などそれぞれの分野で日本側とロシア側のスタッフ双方の息が合わないと全体の進行が止まってしまう恐ろしさや、舞台までの連日連夜、夜は遅くまで朝は早くから準備をする関係者の凄まじさ・一途さというのを実感しました。また、JICのモスクワの現地係員・協力者として通訳をお願いした日本人スタッフも連日、夜遅くまで自分の仕事以上に働いてというか打ち込んでいる姿を見て感動しました。彼女らも舞台・パレエ関係の研究所・アカデミーに数年所属しながらの今回の仕事でしたので対応できたのだと思いました。外から見ていて、この仕事に興味を持ち共感も経験も持っている人でなければ、とても通訳としての仕事だけだと割り切っている人にはできないことでした。ここまで来ると一般的には怠け者だとか冷たいだとか言われているロシア側劇場関係者も「思わず」最後まで付き合ってくれていました。

昨年、出会った人たちに拮抗するくらいのものをJICも個人的にもちゃんとやらないとはずかしいなと感じた1年でした。皆様の新しい年が、貴重な年となりますように。

JIC 東京 杉浦信也 (すぎうらしんや)

JICのホームページをみてください

新年あけましておめでとうございます。本年もJICをよろしくお願いいたします。

皆さんおなじみ(?)のJICホームページの管理・更新を担当させてもらっているのは、私です。昨年は、5月に一新リニューアルオープンしましたがいかがでしょうか。一般的には「危険で」「寒い」というロシアのイメージを少しでも払拭し、私が留学時に感じた温かいロシアの魅力が少しでも引き出せればと思い、現在のホームページが完成しました。

JICのイベント情報他、できるだけ、新鮮な情報を皆さんにお届けできるよう今後も更新作業を頑張っていきたいと思います。また、皆さんからのホームページに関する意見・感想も喜んでお待ちしております。ホームページのサイト内からJIC永富宛にメールを送ってください。

それでは、最後になりましたが、今年も皆さんにとってより良い年となることを心からお祈りしております。ロシアでスノボができる日を夢見る永富でした。

JIC 大阪 永富文彦 (ながとみふみひこ)



小原です

初めてアメリカへ!

先日、生まれて初めて個人旅行で1人、アメリカに行ってきました。友人がいるフロリダ&ロサンゼルスに行っていたのですが、巨大なディズニーワールドやスペースシャトルの打ち上げ



フロリダにて

基地であるケネディ宇宙センターのビジターセンター、ハリウッドなどロシアとはまったく違う世界「アメリカ」にある種カルチャーショックを受けて帰ってきました。「ツアー」で行かない個人旅行は、たとえどこに行こうとなにかと不便で緊張を感じるものです。空港では予想以上のセキュリティーチェックが行われており「あちらへ行け、こちらに行け、靴を脱げ、ジャケットを脱げ」という指示にうろうろし、また飛行機のトランジットのアナウンスを聞き取ることができず隣の人にリピートしてもらってやっと理解。帰国のためにホテルで頼んだ空港へのシャトルバスはなぜか聞きとった時刻より30分も早くホテルについて「バスが待ってるよ〜」とフロントの人に言われてあわててチェックアウトしたり。

あれだけ事前に英語または日本語で情報が入手できるアメリカでさえさまざまな場面でうろたえてしまったのに、ましてや情報の少ない「ロシア」に個人旅行で行こうとする人は、ロシアに到着した時にどれだけ緊張することでしょう・・・。

永富です

いつも手配している「ロシア」に慣れすぎてしまって、どうも私はこの緊張感をしばらく忘れてしまっていたようです。気持ち新たに、JICで手配してロシアに行く皆さんの不安と緊張をすこしでも取り除けるようにしたいですね。今年もよろしくお願いいたします。

JIC 大阪 小原浩子 (こはらひろこ)

航空券はまかせて!

新年明けましておめでとうございます。今年も皆様にとって良い年になります様お祈りしております。

JICで一番NEW FACEの私。JICの旅行局でアエロフロートロシア航空やウラジオストク航空のチケットの発券や、個人旅行の手配をしています。またの顔はロシア語講座の受講生。4月から入門クラスに出ています。昨年クラスに入って一番嬉しかったことは、ロシア語のアルファベットを覚えられたこと。実は何度かトライしたことがあったのですが、アルファベットの時点であえなく挫折。(そ



れって例えば NHK の講座なら 3 日目くらい?) 今回も不安に思っていたところ、先生から「森の熊さんの歌に合わせて歌って覚える!」という方法を教えていただきました。これ、



阪神ファンです

いけます!これからロシア語の勉強を始めようかな〜という方、オススメです。辞書ひきながら歌っちゃうんですけどね。

JIC 東京 宮路智子 (みやじともこ)

同窓会しましょう!

2004年、明けましておめでとうございます。本年も皆様にとって良い年でありますようお祈りします。

大阪オフィスに在籍、ロシア語留学、ロシア語講座、イベントなどの担当をしています。私自身、JIC 留学生 OG ですが、留学時代には本当に充実した楽しい時間をすごすことができました。皆さんを留学に送り出すときは、「留学だからこその様々な経験をして、ぜひ多くのことを学んでほしい」と心より願っています。

JIC からは1200名以上の留学生をロシアに送っています。そろそろ盛大な同窓会が開催できるはずですね。ロシア関係で就職されている方であれば、ビジネスチャンスにつながることもあるかも。また、ロシアから



離れてしまっている方は、同窓生と久しぶりに会って大いに盛り上がるでしょう!住所不明になっている方も多いため、JIC 留学生 OB&OG の方、ぜひ連絡先&近況をお知らせ下さい!

タシケントにて

ここ数年で日本在住の旧ソ連の人の数がぐっと増えてきました。デパートやスーパー、駅やレストランなどでもロシア語が聞こえてきたり。昔はこんなことは港町でロシア船が着いたときくらいでしたが、今やコンビニでバイトをしていてロシア人のお客さんとロシア語で話せた、というくらいですから、その機会も増えているんです。以前は、聞かれてはまずい話などは、ロシア語を使ったりしましたが、今や日本人のロシア語学習者もロシア人も増え、どこで誰に聞かれているかわからないので、残念ながらあまり暗号的には使えなくなりました(笑)。

また、在日の旧ソ連人が増えるにつれて、様々な問題が増えつつあります。ロシア(旧ソ連)との交流団体

JIC として、どのように関わっていくかは、今後の課題と考えています。親口家の皆さん、ぜひ協力をお願いします!

JIC 大阪では年2回の在日ロシア人との交流会(JIC フェア)、留学セミナー、ロシア語留学相談会などを開催しています。どうぞお気軽にご参加ください。スケジュールは JIC ホームページや JIC インフォメーションでチェックしてください。

JIC 大阪 三宅まゆみ (みやけまゆみ)

JIC 留学生 OB・OG の皆さん、覚えてますか?

新年あけましておめでとうございます。東京事務所にいます、中子です。2年ほど前まで何年かロシア語留学の担当をしておりました。留学の仕事というのは旅行と違い、またロシアは生活するには不安がまだ多いという国事情もあるせいか、お客さん(留学生)と接したり話したりする時間が多く、留学生とはとても仲良しになることが多いです。

留学終了後もずいぶんいろいろな方とお付き合いをさせていただけるのでけっこうお得な担当業務でした。留学終了後、ロシア語関係で就職して同じ業界として仕事でおつきあいする場合がありますし、ロシアに久しぶりに旅行しようと思って訪れてくれる人もいらっしゃいますし、ただ何となくふらっと事務所にいらして「飲みに行ってしまう」という関係の人もいます。「留学していた頃は…」などという話をしながら、ふとそれがすでに5年も前のことだと気がついて、「そんなに自分は年をとったのか」と愕然とすることもたびたび。

こんな話を読んで、「おお懐かしい」とお思いになった元留学生の方、いらっしゃったらぜひご連絡ください。いっしょにロシアについて語りましょうね。お待ちしております。(→nakako@jic-web.co.jp)

みな様にとって今年がよい1年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

JIC 東京 中子富貴子 (なかこふきこ)



中子です

渡辺です

カメラの腕はプロ級です!

新年の挨拶とは関係ないかもしれませんが、「旅と本」について少しだけ書こうと思います。いま、手元に沢木耕太郎の著書「敗れざるものたち」の文庫本があり

ます。これは旅の途中、ペナン島の和書専門の古本屋で 3 マレーシア・リングット (約 90 円) で購入したものです。カバーには正体不明の黒い汚点、ページをめくると潰れてペラペラになった蚊が二匹、という代物ですがとにかく思い出の一冊です。



当時まだ学生だった私は、アルバイトで貯めた旅行資金の大半を奪われるというアクシデントに巻き込まれ、格安航空券では途中で帰国することもできず、残り少ない資金を頼りにマレー半島を無気力に旅していました。そんな時フラリと立ち寄った古本屋で気になるタイトルの本と出会いました。それが「敗れざるものたち」でした。背表紙に書かれた「人生でただ一度だけの青春の時を勝負の世界に賭けて燃え尽きていった者たち姿を、若きノンフィクションライターが哀惜をこめて描く情熱的スポーツロマン」という解説文に心が動かされました。マレーシアでは 3 マレーシア・リングットもあればメシを食うことができるので、本を買うか一食抜くかで迷いましたが、結局タイトルと解説文に惹かれて思い切って購入しました。閑散としたショッピングモールのベンチで、中国人の経営する喫茶店で、アンダマン海を見渡す防波堤で次第にその本の中に巻き込まれていきました。あの旅からもう 6 年が経ちますが、「敗れざるものたち」は私の本棚の中でも特別な位置を占めています。JIC で働き始めて 4 年が経過しようとしていますが、今年も皆様の旅のささやかなサポートができればいいなと思っています。今年もよろしくお願い致します。

JIC 東京 渡辺 哲 (わたなべてつ)



クセになる味？

あけましておめでとうございます。世話好き、空想好き、外国好き、外国語フィーリング好きな性格で、「ロシアに行きたい！こんな旅行がしたい！」というお客さまの熱意をエネルギーに、日々ご旅行相談やお手配をさせていただいています。数年前までは、ロシア語学科の生徒さんなどがお客さまに多かったのですが、最近はヨーロッパ、アジア、アメリカなど行きつくしてしまったという方も増えてきたなあとつくづく思います。かつては暗く危険なイメージが強固に立ちはだかっていたロシアが、随分身近になってきたというのはとても嬉しいこ



ニューヨークにて

とです。この国は、今いろんなところで西洋的になろうとしています、便利で快適になるのは旅行者にとっても好ましいことですね。

どこの国も、行ってみなければわからないそれぞれの味があります。世界一大きな国・ロシアの味、一度ではとても味わいきれないクセになる味、味わってみませんか？今年もみなさまの夢がかないますよう、心をこめてお手伝いさせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

JIC 東京 杉山香苗(すぎやまかなえ)

一緒にロシア語勉強しませんか？！



新年あけましておめでとうございます。去年は、お世話になりました。大阪事務所に、毎日のように届くお問い合わせのメールやお電話はとても嬉しく、毎日どんな内容のメールが届いているのか楽しみにしています。JIC ホームページをリニュー

アルしてから、お問い合わせのメールが増え、特に、自分よりも若い人達が多くなってきていることがとても嬉しいです。シベリア鉄道でのヨーロッパへの横断コースはとても人気があり、私も学生に戻った気分、いかに安く便利にできるかと考えながらお見積もりをたてています。旅行専門学校で、旅行見積の授業がありましたが、当時はただ面倒くさく、嫌いな授業でした。今では自分の重要な仕事となり、たくさんのお問合せに答えることが出来、去年はとても充実した 1 年となりました。

今年は昨年以上に仕事を頑張るのはもちろんですが、もう 2 年目になるロシア語講座の方もがんばろうと思います。去年は入門クラスから初級クラスへと昇格し、受講しているのですがなかなかついていけず、今は足踏み状態です。今年ももう一度、初級クラスを受講させてもらい少しでも会話についていけるようにしようと思います。そしてロシア人のお客様から電話がかかってきても躊躇せず、ロシア語で会話ができるようになりたいとおもいます。



最後になりますが今年も JIC をよろしく願いいたします。皆様にとって、素晴らしい 1 年となるよう心よりお祈りいたします。

JIC 大阪 後藤正明 (ごとうまさあき)

旅行が大好き！

新年あけましておめでとうございます！

去年はペテルブルクが建都 300 年祭ということもあり、ロシアへの旅行はちょっとしたブームでした。モス



ウズベキスタンにて つあることを感じています。

そんな近頃、独立後の各国からは、それぞれに魅力ある民族文化や自然美のオーラが放たれています。ご挨拶代わりに私の独断・おすすめ渡航先を一部ご紹介します。

＊ウズベキスタン。観光地でもあまりスレてなく、人々も概しておおらか。迷路のような旧市街では人々の生活が垣間見え、声をかけながらのんびりとお散歩できます。日本から直行便があり、航空料金は安く、現地のホテル料金や行動費も比較的安い。(フライトキャンセルと夏の食あたりにはご注意ください。)

＊コーカサスの国、アルメニア・グルジア・アゼルバイジャン。それぞれ小さな国なので、首都だけに泊まっても日帰り郊外で結構楽しめます。地図の上では密集して見える3国のカラーの違いは大変面白いものです。(政情不安の地域にはご注意ください。)

＊やっぱり・・・ロシア。寒い冬でも、雪化粧をした街並みや教会は、寒さを忘れて見入る美しさです。変わりゆく都市をさみしく思われる方もおいでかもしれませんが、いっそ変化を楽しみながら、ロシアに行ったのはもう随分昔だな、という方も、ぜひ訪れてみてください。JIC 東京 百瀬智佳子 (ももせちかこ)

私も JIC 留学生 OG です

新年あけましておめでとうございます。



柳沢です

ウラジオストクにて 夏ウラジオストクに行く機会に恵まれ、初めて極東ロシアに触れることができました。同じロシアではありますが、初極東はとても新鮮でした。まず、車が多い！日本車も頻繁に見かけましたが、とにかく走行している車の数がとても多いです。また、勾配の急な坂道が多く散歩にはちょっとハードな道もありますが、高い位置から見る景色は爽快です。しか

クワやペテルブルクは、一般の方にもかなりメジャーな観光地になってきたようです。一方で、近頃、「ソ連」という単語を知らない子供も増えているとか。「ソレン」という国だったと思っているとか・・・私が JIC に入った頃とは時代は変わりつ

もそういうポイント地点はあちこちにあり、海を見渡すことができます。そして、ウラジオストクは、

さすが新潟から 1 時間半！日本に行った事のあるロシア人がとても多く、タクシー運転手などは、日本の伏木(富山)に行ったことがある、とか、おれはこんな日本語を話せるぞ、など日本語を懐かしそうにしていました。何よりも一番驚いたのは、湾内に停泊していた潜水艦の多さと騒々しさです。私が滞在していた時期に潜水艦にちなんだ祝日があり、そのお祝いのために朝から何度も潜水艦から空砲が打たれていました。初めは、なんの騒ぎか分からずこわかったのですが、空砲を打ち鳴らすことは、祝日を盛大に祝うロシア人気質のあらわれだったのでしょう。その大胆さと豪快さは‘さすがロシア’です。

まだまだ知らないロシアがあります。みなさんに様々なロシアを教えていただきつつ、素敵で快適なご旅行を手配させていただくよう努めてまいります。本年もさらによろしくお願い申し上げます。

JIC 東京 柳沢 昭子 (やなぎさわあきこ)

グルメ？大食い？では J I C いち

新年あけましておめでとうございます。

先日2年ぶりにモスクワ・スズダリに行く機会がありました。久しぶりにモスクワに行ってみて、予想以上にいろいろな点が良くなってきつつあることにはずいぶんと驚かされました。

町は一段と華やかに明るくなり、道にも、色あざやかな欧州製の車が多く目立つようになりました。聞けば、2年前から欧州方面からの中古車の輸入が解禁になり、モスクワ市内の自家用車所有率はわずかな間に倍近くになったとのこと。ただ以前はあまりひどくなかった交通渋滞が、特に夕方はひどいものとなり、帰国のときの空港までの道のりが、以前の倍近くかかったのには参りました。相変わらずだなあ、と感じさせられることも、やはり (!) ありました。シェレメチエヴォ第2空港の到着ゲート近くの、灰皿のあるところで、日本人旅行者が10時間ぶりのたばこを吸っていたところ、近づいてきた制服姿の警官曰く、「空港内は全面禁煙だ。ここで罰金を払え！」と。それなら何でここに灰皿があるんだ、第一、禁煙だなんてどこにも書いてないじゃないか(あとで空港入りロゲートに、目立たなく書いてあるのを発見)、と押し問答になりました。同行のロシア人ガイドが間に入ってくれ、かろうじて罰金だけ

神保です



は逃れられました。ところが、私たち日本人がしぶしぶそこから数歩離れたところで、別の制服姿の警官の一群がさきほどの灰皿に近づき、おもむろにたばこに火をつけるではありませんか！やれやれ、とホテルにチェックインしてみれば、これまた旧ソ連時代そのままのデジュールナヤ（鍵お婆さん）。必要以上におせっかいに、あれやこれやと面倒をみてくれ、ほんのお礼に、と差し出した 10 ルーブル札に、飛び上がらんばかりに喜んでいました。

変わりゆくロシア、変わらざるロシア。数年我慢(?)していくうちに、今からは想像つかないようなロシアになっているかも知れません。その日を楽しみに、この国と粘り強く付き合い続けていきたいものです。

今年もよりいっそう、多くの皆さんに、そんなロシアを体感していただく機会をつくること、お手伝いをさせていただければ幸せに思います。どうかよろしくお願い致します。

JIC 東京 神保泰興（じんぼやすおき）

たくさんのロシア人が来日しています

明けましておめでとうございます！

JIC 旅行センター、外国人旅行部のモロゾフ・デニスです。

去年は僕にとって、ものすごく充実した年、そしてあっという



間に終わった年となりました。一番の自慢話は、やはりなんと言っても旧ソ連諸国からの観光客数が 1,000 人を突破したことです。しかも、この勢いはとまる気配もなく、これからもうなぎのぼり状態が続くと確信しています。個人のお客様を始め、多目的のグループ旅行や研修旅行（電気グループ、石油グループ、ガスグループ、公証人グループ、生け花グループなど）の依頼が絶え間なく続いており、ロシアやウクライナの国民はいかに日本のあらゆる技術、文化、伝統に関心を持っているか窥えます。

JIC の全スタッフは自分なりの今年の目標を決めていると思いますが、僕の「抱負」は人数をさらに伸ばす、ということではありません。日本の大手旅行社に出来ない、一人一人のお客様にお贈りする「旅の演出」です。丁寧な対応、ユニークな旅行コース、豊富な知識を備えたガイドなど、すべてのお客様にとって「納得の行く」旅だけではなく、「忘れられない」旅を目指して、今年も頑張っていきます！

JIC 東京 モロゾフ・デニス

やっぱりロシアが好きだ

あけましておめでとうございます。東京事務所で、留学、ロシア語講座を主に担当させて頂いている、西之原です。これを読んでい



ウラジオストクにて

らっしゃる方は、少なからずロシアを愛している方達だと思いますが、僕もロシアが大好きです。きっかけは単純な事だったのですが、今となってはロシアなしでは生きられない！！とまでは言いませんが、やはりロシアが好きです。

僕は 1998 年から、2 年間 JIC を通して留学をしました。初めて JIC に留学相談に来た時は、まだ不安で一杯でしたが、留学をしてロシアで過ごすうちに、どんどんロシアを好きになり、不安もなくなりました。そして幸運なことに、僕は JIC でロシアに留学をして、その後そのまま JIC のスタッフになりました。スタッフとして責任感、豊富な知識を持つと共に、ロシアに不安を持っていた頃の自分を忘れたくはないと思っています。今でも事務所にいて何気なく電話を取って「NHK のテキストの広告を見たのですが、ロシア留学に興味があるんですが…」と言われると、昔の自分を思い出します。僕も全く同じでした。大学生の頃にロシア留学を思い立ち、扉を叩いたのが JIC だったのです。ですから、同じ道を辿る（辿りそうな？）人の質問には、とても嬉しく思います。

僕はロシア留学で多くの物を得ました。簡単な言葉ですが、本当に多くのものを得たのです。自分自身の経験、友人、知識など数えてもきりがありません。今 JIC のスタッフで一緒に働いているロシア人のデニス君も、留学をしていた 1998 年にモスクワで知り合いました。彼は、同じ JIC のスタッフとしてだけではなく、とても大事な友人です。その他にも留学しなければ絶対に得られなかったであろう友人がいます。僕は単純に、これを読んでる皆さんにも同じように貴重なものを得て欲しいと思っています。

JIC では留学生の派遣だけではなく、ロシア語講座も行っております。ロシアを好きな人、なんとなく興味がある人、色々な方がいると思いますが、お気軽にお問い合わせください。皆様のお力になればと思っております。

JIC 東京 西之原 芳弘（にしのはら よしひろ）

◇第一回下見旅行

ロシアCISのウォトカを訪ねる旅

小久保洋子 (プロムテック・ビズ代表)

2003 年春、少数ながら日本にも存在するロシアウォトカのファンにとってショッキングなことが起きた。ソ連および新生ロシア時代を通して長年ロシアからウォトカを輸入し販売していた専門店“ベリョースカ”が店舗もクローズし会社を解散したのだ。

理由はロシアからウォトカが入らなくなったことだと言われる。長年ロシアウォトカファンが愛飲していたスタルカ、リモーナヤ、ペルツォフカなどの伝統銘柄ウォトカの対日輸出がストップしたのだ。

いったいロシアのウォトカはどうなっているのだろうか？そして今後の動向は？尽きない興味とロシアウォトカインポーターとして隠れた名酒を探す目的とをもってこの秋モスクワを基点にリトアニア、ウクライナのウォトカ工場を訪ねた。



1. ロシア篇

◇ロシアでの趨勢は超高級プレミアムウォトカ

まず、6 年ぶりに訪れたモスクワの変貌にびっくり。道路はあんなに幅広いにもかかわらず車が渋滞し、店には商品があふれていた。しかも、西欧からの高級ブランド品も多い。大きな酒販店もたくさんあり、もちろんウォトカが広いスペースを占めて多様な銘柄がひしめいていた。ウォトカ元祖の国でありながら外国からの輸入ウォトカもたくさん並んでいる。しかしソ連時代からの伝統銘柄は元気がなく存在感が薄い。

株式会社プロムテック・ビズ (設立 1991 年)

代表取締役小久保洋子

〒167-0051 東京都杉並区荻窪 5-14-4-306

TEL : 03-547-0392 FAX : 03-5347-0393

E-Mail : info@promtec-biz.co.jp

URL : <http://www.promtec-biz.co.jp>

業種 : ロシアCIS酒類輸入販売

ロシアウォッカ“デルジャブナヤ” “マトリョーシキナ”

アルメニアブランデー“アララット”

リトアニアウォッカ“サマネ”

ウクライナウォッカ“ペルツォフカ・メドーヴァヤ”

ソ連時代ウォトカは公団が生産販売を独占していた。ソ連が崩壊してからは民間企業SPIが同じ銘柄のウォトカに昔と同じ商標をつけて製造販売してい



ロシアウォトカの新ブランド “マトリョーシキナ”
輸入販売 プロムテック・ビズ

た。ところが最近「それらの商標は国家の知的財産であるから、勝手に使ってははいかん。使うなら国にロイヤリティを支払え」というお達しが出た。それから、なにやかやと商標権をめぐる争いが生じ、結局裁判の決着がつくまで誰も輸出できなくなってしまった。

私などもソ連時代からスタルカ (ウォトカとアルメニアブランデー“アララット”をブレンドしさらに果物などのエキスを加えて樽で熟成させたウォトカの商標) を愛飲していた一人なのでその輸入者“ベリョースカ”が閉店すると聞いたときはあわてて買いあさって今もその残りを大事に飲んでいる。自分が輸入した別のウォトカを“売るほど”かかえているにもかかわらずだ。それほどスタルカは世界的名酒だと思う。それがもう入ってこないなんて非常に残念なことだ。

しかし、今のロシアおよびその他のCIS諸国には次々とすばらしいウォトカ新製品が生まれているのも事実。原料と水を厳選、ろ過の回数と方法、添加物によって差別化された多くのプレミアムウォトカが市場に出てきた。

その中でも今特に勢いのいいのが「ルースキースタンダルト」。サンクトペテルブルグの工場で生産されているが、ものすごく高価なウォトカであるにもかかわらず、ニューリッチのみならず一般市民もどんどん買っていく。確かに品質はいいしボトルデザインもロシアらしく重厚でセンスもいい。

そのメーカーのモスクワ支店の方と 2 時間ほどお話できたが、まだ日本市場に 1 本も入っていないのを残念がり、熱心にプレゼンテーションされた。私は次の「ウォトカを訪ねる旅」では「ルースキースタンダルト」の工場見学のためにぜひサンクトペテルブルグをコースに入れたいと思いはじめた。

また、このように市場で目立つ銘柄でなくともロシアにはまだまだ隠れた名酒が存在する。たとえば、バ

シキールのウオトカ“アクサコフスカヤ”。添加物として馬乳酒がはいっているというが、そのせいかどうかとにかくまろやか。ラベルのハンターと獵犬の絵も素朴な地酒のイメージ。

そんな名酒を見つけて歩き少しずつ日本に輸入するのが私の目下の夢だ。従って今回の旅はその1回目。これを期に2回目3回目と旅を繰り返すつもりだ。今回はモスクワで相棒マリーナと合流、女二人の旅だったが、めったに見られないウオッカ製造ラインを丁寧な案内付で見学したりその製品の試飲をさせてもらったりしていたら何かふたりだけではもったいない気がしてきた。次回は日本のウオトカ好きの同志が集まって皆であちこち試飲して歩けばもっと楽しいだろうと思い、今当誌発行元 JIC 旅行センターと「ウオトカツアー」も企画中。この1回目はその下見旅行として生かさればこんな嬉しいことはない。

さて、私の下見旅行はモスクワのあとリトアニア、ウクライナへと続いた。(次号へ続く)

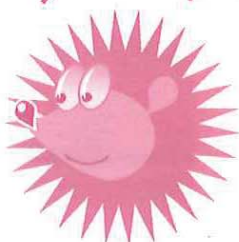


写真 ウクライナ・キエフ市 独立広場

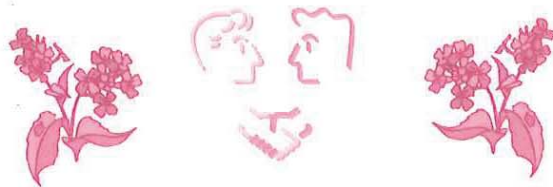
JICのオリジナルキャラクター「ジェーニャ」をデザインしたのは私です！
グラフィックデザイナー
ウクライナ在住 ナターシャ



ジェーニャ



2006年を日本におけるロシア年に！



新年早々「鬼が笑う話」で恐縮ですが、一つの提案があります。それは「2006年を日本におけるロシア年に！」という提案です。昨年2003年、サンクトペテルブルグ300年祭と平行して、「ロシアにおける日本年」が開催され、ロシア各地で日本文化を紹介する行事が活発に行われました。モスクワやペテルブルグ市内には多数のすしバーや日本料理店が開店し、ロシアではちょっとした日本ブームすら起こっています。

「ロシアにおける日本年」がロシア人の日本理解に大いに役立ったように、日本でもロシアブームを起こすくらいロシアを身近に感じてもらうために、「日本におけるロシア年」の実現に取り組むべきだと思います。すでに一部では「2004年をロシア年に！」という声もありましたが、今からではとても準備が間に合いそうにありません。2005年は愛知万博という大きな行事が控えています。そこで2006年です。この年は、1956年の日ソ共同宣言で両国の国交が回復されてから50周年にあたる節目の年です。国交回復後50年近くたった今も日本とロシアの間には平和条約が締結されていない(したがって本当の意味での戦争状態が終結していない)のは、とても残念なことです。

2006年を日本におけるロシア年に設定して、さまざまな団体が協力して日本各地でロシアを身近に感じてもらう催し物を大規模に行うことで、平和条約交渉の民間サイドからの応援を行ってみてはどうでしょうか。

鬼は笑うかもしれませんが、もしこれが実現できたら、それこそ日本人とロシア人がともに笑い合って交流できる機会が爆発的に増えることは間違いありません。 JIC



JICは頑張る人を応援します！

連載6 ロシアバレエの歴史

19世紀後半、プティパの時代(1)

マリウス・プティパ(1818-1910)

フランス人であるプティパはバレエマスターの父と演劇女優の母を持ち、幼少のころから舞台に立っていました。自身もダンサーとして、またバレエマスターとして活躍した後、1857年にペテルブルグに踊り手として招かれ、1862年からはペテルブルグのボリショイ劇場に正式にバレエマスターとして迎えられます。

プティパは56年間に46のオリジナルバレエを上演しました。そのなかでも有名なものは「ドン・キホーテ」、「バヤデルカ」、「眠れる森の美女」、「ライモンダ」、そして「白鳥の湖」の1幕と3幕です。そのほかにも「リーズの結婚」、「ジゼル」、「パキータ」、「海賊」、「エスメラルダ」、「コッペリア」などを改訂しました。

自身の活動のなかでプティパは徐々にアカデミックバレエを確立していきます。プティパの最初の全幕バレエは「ファラオの娘」(1862)でした。原作はゴーチェの「ミイラ物語」で、作曲はプニーでした。現在ボリショイ劇場で上演されているこの作品は、2000年にラコットが改訂したのですが、プティパ初演当時のものに近づけてあります。

プティパは形式にこだわり、作曲家が楽器ごとにメロディーやリズムをかくように、グループごとに群舞やソリストに踊りを振り分けていきました。プニーの音楽は単純で、踊るため、またプティパの振付家として最初の作品のためには非常に適していました。プティパ作品の特徴はすでにこのバレエで見ることができますが、プティパ独特の舞踊の交響曲とも呼べる美しいコールドバレエの振り付けは、チャイコフスキー、グラズノフなど、ロシアの交響曲の偉大な作曲家の出現を待たなければなりません。

次に現存するプティパの作品はミンクス作曲「ドン・キホーテ」(1869)です。セルバンテスの小説をもとにした作品ですが、ご存知のとおり、サンチョ・パンサをつれたドン・キホーテは脇役、主役は旅館の娘と床

屋のバジルの恋物語です。最初にモスクワで、その二年後にペテルブルグで少し改訂して上演されました。このときは全五幕十一場もあったとされています。

現在は初心者向けバレエとして世界中で人気がある演目ですが、初演版はキャラクター・ダンスからなるディヴェルティスマンとマイムがほぼ全体を占めていて、クラシック・ダンスがみられるのは2幕の夢のシーンだけでした。

現在上演されている版は1900年のゴールスキー版に基づいているものがほとんどです。ゴールスキー版における変更点で一番顕著なのは特に一幕の群衆の場面で、ゴールスキーはモスクワ芸術座のリアリズム演劇の手法に基づいて、群衆にそれぞれ役割を与えスペインの広場のいきいきとした雰囲気を作り出しました。特に、いわゆるグラン・パ・ド・ドゥと呼ばれるフィナーレは、独立してコンサートなどで踊られることが多い演目です。

「ドン・キホーテ」の上演後、それまで第二バレエマスターとして活躍してきたプティパですが、サン＝レオンの退任で首席バレエマスターとして迎えられることになります。

さて、今回はダンサー生活に終止符をうって、振り付けに専念し、精力的に作品を発表するようになったプティパの全盛期の作品「バヤデルカ」、「眠れる森の美女」などについて見ていきたいと思います。



山川詩保子(やまかわしほこ)

モスクワ・ロシア舞台芸術アカデミー在学中、バレエ評論家のたまご) JICよりモスクワ大学へ留学、その後アカデミーに入学、現在に至る



写真左から3人目が山川さん



第13回創価大学・ロシア語スピーチコンテスト

12月6日に「第13回創価大学創立者杯ロシア語スピーチコンテスト」が開催されました。

今回のスピーチコンテストの応募数は22名でしたが、会場の時間の都合上、出場者は17名に絞ってのスピーチコンテストとなりました。当日出場したのはエレメンタリー部門は10名(内3名は高校生)、スタンダード部門は7名でした。審査員は7名で、東京外国語大学教授 中澤英彦先生、早稲田大学教授 貝澤哉先生、ロシア連邦大使館のレオニド・ガムザさん、SGI 公認通訳の道口幸恵さん、創価大学助教授 小崎晃義先生でした。

今回のスピーチコンテストの受賞者は以下の通りです。

創立者賞 創価大学4年 藤野美香さん

《スタンダード部門》

1位 創価大学4年 藤野美香さん

2位 創価大学4年 村松彰子さん

3位 東京ロシア語学院2年 山口克己さん

《エレメンタリー部門》

1位 東京外国語大学1年 堀口大樹さん

2位 東京外国語大学2年 坂本翔一さん

3位 創価大学2年 文後三樹さん

審査員特別賞 関東国際高校2年 中井雅朗



今回は、先生方からも講評を頂きましたが、なかなかレベルの高いスピーチコンテストとなりました。「当日のスピーチのみにかわらず原稿審査の段階からレベルが

高く当日が楽しみだった」という講評やまた、「高校生の成長がめざましかった」「聞いていて(審査していて)面白いと思えるスピーチコンテストだった」という講評もありました。

今回のスピーチコンテストの特色としては、まずただ単に当日のスピーチの出来(発音、イントネーション、表現力)はもちろんのこと、原稿の段階からレベルが高く、また内容也多岐にわたったことです。ですがやはりもう少し全体的にスピーチの表現力という面において、磨きをかけると良いということでした。



先生方からは、来年もさらにレベルの高いスピーチコンテストに出来るよう頑張ってくださいというお言葉を頂きました。

また、コンテストには特別出演として、創価大学銀嶺合唱団がきてくれ、『アムール河の波』『カチューシャ』『母』を披露してくれました。

私たちは来年も更にレベルの高いスピーチコンテストを開催できるよう、また1年、頑張っていきたいと思っています。

創価大学ロシア研究会

スピーチコンテスト実行委員長 鈴木美幸

JIC はこのスピーチコンテストの後援団体として参加させていただき、創立者賞受賞者の藤野さんに成田～モスクワ往復航空券を贈呈しました。



JICロシア語講座開講中!

JIC では東京と大阪でロシア語講座を開講しています。東京では、入門(月)初級(水)中級(木)上級(金)の4クラスおよび個人レッスン、大阪では、中級(月)入門(水)初級(金)の3クラスです。見学もしていただけますので、お気軽にお問合せ下さい。JIC 東京 03-3355-7294

JIC 大阪 06-6944-2315

大好評! ロシア (旧ソ連) に友達を持とう! ロシア語を勉強しよう!

ロシアや旧ソ連からペンパル募集です

① Name ② Sex ③ Born ④ Address ⑤ E-MAIL ⑥ Hobby ⑦ Languages

① BRONNIKOVA Anna ② Female ③ 1973 ④ Russia, Moscow ⑤ a.bronnikova@mtu-net.ru ⑥ I'm an English/French translator. My hobbies are literature, cinema, music, travelling and studying foreign languages. ⑦ English, French, Russian, a couple of Japanese words.

① Nick: Dairi ② Female ③ 1987 ④ Russia, Moscow ⑤ miaka_chan@list.ru ⑥ Psychology, foreign languages, manga, chatting. Want to find penpals among handsome Japanese boys (age 16-25) ⑦ Russian, English

① BOROVIKOVA Nataliya ② Female ③ 1975 r. ④ Russia, Moscow ⑤ 80721@mail.ru ⑥ I have a lot of interests: painting, flower gardening, reading, music (Camui Gackt, Weiss Kreuz) ⑦ Russian, English

① KIRIKOV Maxim ② Male ③ 1982 ④ Latvia, Salaspils ⑤ Maxlight@navigator.lv ⑥ Reading, programming, web-design, karate, Japan :) ⑦ Russian, English

① SOSNERZH Denis ② Male ③ 1986 ④ Russia, Bratsk town ⑤ neongenes17@mail.ru ⑥ Literature, music, bodybuilding, cinema, anime ⑦ Russian, English

① MASALOV Roman ② Male ③ 1975 ④ Russia, Rostov region ⑤ jurist@goldy.aanet.ru ⑥ Japanese culture and history of Japan, Japanese language ⑦ Russian, English

① FILIPPOVA Marina ② Female ③ 1983 ④ Russia, Yakutsk ⑤ badkitty@rambler.ru ⑥ Japanese language, Japanese youth ⑦ Japanese

① AMIROV Zakhar ② Male ③ 1981 ④ Russia, Tomsk ⑤ amirov@tric.tomsk.gov.ru ⑥ Japanese language, Anime, Programming (3D programming especially), Dreaming :) ⑦ Languages: Russian, English, few Japanese words

① KADILENKO Maxim ② Male ③ 1978 ④ Russia, Volgograd ⑤ mcwc@yandex.ru ⑥ Music, cinema, art ⑦ Russian, English

ロシア語なら私たちも簡単にメールを書けるわ!

マーシャ



メールしてみたいけど、ロシア語なんて難しそうだし・・・

JIC 東京と JIC 大阪で
ロシア語講座を開講
4月からスタート!

ロシア語でメールを書けば、もっとたくさん友達ができる! ゼロから始めるクラスもあるので、ぜひトライしてみてね!

JIC のロシア語の先生



タロウくんは習ったロシア語でメールを始めました。そして1年もメールのやり取りが
続いたのです。ロシア語力もぐ〜んと上達しました。



夏休みに遊びに来ない? 待ってるわ!



マーシャちゃんに招待されちゃった。会いに行こうかな。JIC の旅行局、ジェーアイシー旅行センターに問い合わせよう。

僕は夏休みにマーシャちゃんに会いに行くことになりました。ロシア語がんばるぞ!

タロウ



待ってるよ〜!

手紙は、特に日本語の記載がない場合には、ロシア語か英語で書きましょう。日本語の場合は、易しい言葉で書きましょう。メールの場合は、相手のパソコンでは日本語が文字化けして読めないこともあるので、最初のメールは英語で書くのが無難です。

宛先の住所は英語表記で届きます。

あなたの住所も英語で書いておきましょう。

それでは、すてきなお友達ができますように!

Good Luck! JIC

～色々やってます！JIC 交流イベント～

JIC東京クリスマスパーティ

去る12月13日、JIC 東京事務所の2F、フレッシュネスバーガーで恒例のクリスマスパーティを開催しました。

ご参加くださったみなさま、ありがとうございました！

大阪JICフェアー

12月7日に恒例のJIC フェアーを開催しました。在阪の外国人(ロシア・ウクライナ・ベラルーシなど)、ロシアや旧ソ連ファンの日



本人の方々にたくさんお集まりいただき、大いに盛り上がりました。それぞれに情報交換や新しい友達を作っておられました！

年に2回開催しています。次回は6月初旬の予定です。

JIC留学セミナー

11月15日に大阪で、16日には東京で、JIC主催のロシア語留学セミナーを開催しました。

大阪では、大阪外国語大学の堀江新二先生が、ご自身の体験談を交えながらの楽しいレクチャーをしてくださいました。



会場には寮や大学など留学がわかる写真資料や、在ロシア大使館や領事館が発行する安全のしおりなど、様々な資料を展示しました。JIC 留学生経験者数名をゲストに招き、ホットな現地情報も披露してもらいました。和気藹々とした雰囲気の中で、参加者の皆さんは新しい留学友達を作ることが出来たようです。

東京では、同時通訳者の柴田友子さんが「私のロシア語勉強術」と題して、学習者には非常に興味深いお話を聞かせてくださいました。

両レクチャーの要約は、次回以降のJIC インフォメーションでご紹介する予定です。お楽しみに！

JICスポーツフェスタ

11月15日(土)、東京のロシア大使館付属学校にてスポーツフェスタを開催しました。天気は危ぶまれる曇り空でしたが、



集まってきた参加者の皆さんは士気満々でした。種目はバレーボール、卓球、ダーツ、チェス(ロシアではチェスはスポーツに分類されます)の4種目。まず、日露対抗チームでバレーボールから始めました。バレーで「ロシア」に勝てるわけではない...と初めは少々弱気な日本チームでしたが、経験者の方をはじめとした皆さんの粘り強い頑張りで、双方の歓声の中、ゲームはとても盛り上がりました。ロシア国旗を広げて応援する姿も見えました。それにしても、ロシアチームはやはりとても上手でした。屋外コートだったため、途中から降ってきた雨のために残念ながら勝負はお預けになりましたが、スポー



ツ交流の持つ力の大きさを改めて感じました。

その後は、卓球、ダーツ、チェスと希望種目に分かれ、皆さんリラックスした

雰囲気ですべてプレイを楽しんでいました。

ロシア大使館文化担当のガムザー等書記官からも、「このようなスポーツ交流会を是非継続してゆきましょう」と大きなご賛同をいただきました。毎年恒例の春の大使館フェスタは主に音楽・文化交流の場になっていますが、また違う角度から親睦を深めるよい機会であったと思います。スポーツフェスタとしては今回が初めての開催でしたが、より楽しいものになるよう工夫しながら恒例のイベントにしていきたいと思っています。



ボリス グレベンシコフの来日公演決定！ 偉大な B Γ がやっ て来る！

あの 2000 年 12 月に来日したカリスマロックグループ「アクアリウム」のリーダー、ボリス・グレベンシコフが今年再来日。4 月 3 日(土)、SOLO・ACCOUSTIC コンサートが東京で行われる事になった。



"2000.12 月東京公演" www.aquarium.ru

B Γ はすでにロシアの歴史の一部だ！

1972 年、まだロシアがソ連だった頃、レニングラード(現在のサンクト・ペテルブルグ)でグレベンシコフと大学の仲間が集まって、曲を作り始めた。ソビエト政権の厳しい統制の下、バンド活動は許可されていなかったが、グレベンシコフは、アパートや学生寮、倉庫などでシークレット・ライブを続けた。警察と KGB が踏み込んできて、ライブを中止されることもあり、メンバー達は裏口や窓から逃げたものだった。当初、《アクアリウム》のアルバムは、店頭にならなかつたため、多くのファンはお互いにテープをコピーし合っては、《アクアリウム》の音楽を聴いていた。グレベンシコフの詞と音楽はみんなから愛され、テープからテープへ、あつという間に、時差 11 時間のソ連の端まで伝わった。テープのコピーは次から次へ、マスターテープから何千回ものダビングを経て、ペテルブルグやモスクワからスタートしたものが、ウラジオストクまで行っては戻ってきた。ロシアには、《アクアリウム》のテープ、レコード、CD が 5000 万から 1 億本(枚)はあるものとみられている。

ボリス・グレベンシコフと《アクアリウム》を知らない人はロシア人ではない。音楽専門誌だけでなく、一般の新聞にも「B Γ (ベーゲー)」の文字がしばしば見られる。この、グレベンシコフの愛称には、何の注釈もついていない。写真がなくともフルネームが書かれていなくとも、一般の新聞読者にとって、この愛称で十分なのだ。

尚、去年 11 月に B Γ は 50 歳になった。B Γ はロシアの文化に偉大な寄与をした功績を認められ、プーチン大統領から国栄賞を贈られた。

2000 年の初来日の時、大きなホールで 700 人以上の観客を集めて盛り上がったが、今度、狭い LIVE・HOUSE でロシアの一番伝説的な SINGER・SONGWRITER を見る機会を絶対に掴んで下さい。早いもの勝ちですよ！

日時：2004 年 4 月 3 日(土)

18:00 開場 19:00 開演

料金：¥5,000+ONE DRINK (別途ご注文・お支払いください)

場所：STAR・PINES・CAFÉ (吉祥寺)

約 100 席+立見約 100。チケット購入順に整理番号がつけます。

当日は 18:00 より整理番号順にご入場いただきます。

チケット購入は・・・

*STAR PINES CAFÉ 店頭にて販売しています。(ご予約のみは不可)

東京都武蔵野市吉祥寺本町 1-20-16 B1

0422-23-2251

JR 吉祥寺駅から徒歩 3 分

*JIC でもチケットのお申し込みを受け付けています。お問い合わせは、JIC 東京事務所 B Γ 係までファックスか E-mail にて。

ファックス：03-3355-7290

E-mail：jicaquarium@hotmail.com

*お名前、*郵便番号、*住所、*電話(日中 JIC から連絡可能な番号)*必要枚数、をお知らせください。在庫確認後、お振込みとチケットお渡しの要領をご案内いたします。



石川県金沢市でもコンサート決定！

4 月 4 日(日) 19:30~

チケットは直接「もつきりや」で。tel:076-231-0096

<http://www.spacelan.ne.jp/~mokkiriya/index/html>

ロシア関係イベント案内

「第5回 若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール」

期間：平成16年3月7日～21日（日）

部門：ピアノ・ヴァイオリン・チェロ

主催：第5回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール組織委員会 チャイコフスキー・コンクール入賞者連盟（ATCS）、倉敷市



来年3月に岡山県倉敷市で開催されるこのコンクールは、有名な「チャイコフスキーコンクール」のジュニア部門にあたり、各部門で厳しい予備審査を通過した22の国と地域から、16歳以下の若い音楽家たち160名が出場して、その演奏を競います。

チケット・その他コンクールに関するお問合せ先：
組織委員会事務局 tel:086-426-3078

e-mail:tchaikovsky@city.kurashiki.okayama.jp

詳しくはホームページをご覧ください

www.tchaikovsky-competition.org/

ロシア民謡コンサート2004

2月1日（日）14:00開演（13:30会場）

池袋西口 東京芸術劇場

ステンカ・ラージン、トロイカ、黒い瞳、アムール河の波、カチューシャなど



指揮：本名徹次

バス独唱：岸本力（ロシア語）

1973年12月、チェコの巨匠スメターチェク指揮の日本フィル《第九》でデビューから30周年。悲しみも喜びも心の底から表現するロシアの魂を歌い上げます。

合 唱：合唱団白樺（ロシア語／日本語）
ロシアの歌といえばこの合唱団の右に出るコーラスはないでしょう。ロシアと日本の文化の掛け橋として、50年以上の歴史を誇り、ロシアでも大変有名な合唱団

合唱指揮：藤本敬三／中山英雄

日本フィルハーモニー交響楽団

ヴァイオリン独奏およびコンサートマスター：木野正之

司会・解説（日本語）：デニス・モロゾフ（JICスタッフ）

S席6,200円、A席5,200円、B席4,200円、C席3,200円、

車椅子2,200円、Ys（25歳以下）2,200円、G

s（65歳以上）2,900円

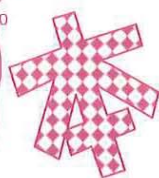
お問合せ・お申し込み：

日本フィルサービスセンターtel:03-5378-5911（平日

10-18時）、チケットぴあ0570-02-9990、CNプレイガ

イド03-5802-9990、e+（イープラス）03-5749-9911

URL <http://www.japanphil.or.jp/>



Книга



「ロシア民話 動物たちの冬ごもり」

再話 A. トルストイ 他

訳 河葉田たか子

画 フィリップ・キイー

出版社 日本エディタースクール出版部

tel 03-3263-5892 担当 長井さん

定価 1000円

お近くの本屋さんに無い場合は、ご注文いただくか、直接出版社の方にご連絡下さい。

絵は表紙も含めて、全てキイーさん（イギリス人、ペテルブルグ大学ロシア語文化センターでの、元クラスメート）が描いてくれたものです。表紙は、黄色で、動物たちが描かれた可愛い絵です。

JICは頑張る人を応援します！



旧ソ連関係のイベント案内掲載をご希望の方はJICまでご相談ください。イベント時期の約2ヶ月前に情報をお送りください。

掲載内容がJICの活動に合わない場合はお断りする場合がありますのでご了承ください。

2004年 JICイベント予定

- 5月中旬 JIC 東京 ロシアンフェスタ
- 6月初旬 JIC 大阪 JIC フェア
- 11月中旬 留学セミナー (JIC 東京&大阪)
- 12月初旬 JIC 大阪 JIC フェア
- 12月中旬 JIC 東京 クリスマスパーティ



上記予定は会場の都合などにより、変更される可能性があります。
また、新たにイベントを追加することもありますので、事前に JIC までお確かめください。直前の JIC インフォメーションでチェックしてください (1月・2月・4月・6月・9月・11月発行)。

ロシア長期留学4月生・募集中

【期間】2004年4月より10ヶ月【締切】2004年1月末日

モスクワ国立大学 \$4000 (授業料10ヶ月)

サハリン国立大学 \$4000 (授業料10ヶ月)

ウラジオストク極東大学 \$4000 (授業料10ヶ月)

*上記の金額以外に別途、寮費、留学基金、渡航費用、ビザ代金及び取得手数料などがかります。

ロシア語個人研修 (随時募集)

モスクワ・ダリパス社 (ホームステイ3食付) ¥188,000

モスクワ大学 (大学寮1人部屋) ¥170,000

モスクワ・G&R社 (ホームステイ2食付) ¥290,000

ペテルブルグ文化大学 (ホームステイ2食付) ¥192,000

上記料金は、4週間の研修・滞在費用、食費 (ホームステイの方のみ、2食または3食) を含みます。査証代金等別途。

リデン&デンツ スイスの会社出資のロシア語学校。

個人・グループレッスン。2週間より可能。

JIC留学相談会

1月24日 (土) 13~17時 留学相談会

会場：各事務所

5月15日 (土) 留学相談会

6月 5日 (土) 東京・旅行留学相談会

6月 6日 (日) 大阪・旅行留学相談会

10月16日 (土) 留学相談会

10月30日 (土) 留学相談会

11月13日 (土) 大阪・留学相談会

11月14日 (日) 東京・留学相談会

12月 4日 (土) 東京・留学相談会

12月 5日 (日) 大阪・留学相談会

上記日程は変更になる可能性があります。事前にならず日時・会場をお確かめの上、ご予約下さい。会場は各事務所とは限りません。

留学・研修各種パンフレットは JIC へご請求ください。留学・旅行相談お気軽に!

Jクラブ (JIC友の会)のご案内

JICインフォメーションを年6回、またJICのイベント案内をもれなくお届けします。

年会費3,000円を下記口座にお振込みください。

郵便口座：00120-5-367767 国際親善交流センター